

# 教職員養成・育成だより 第74号



令和6年3月8日発行  
横浜市教育委員会事務局 教職員育成課

## 1. 2月の教職員育成課の教職員研修等及び事業情報

### 「横浜型初任者研修(1年目・2年目・3年目研修)」～1年間の研修を終えました～

それぞれの研修の最終回は、1年間の研修の成果と課題を明らかにした上で、今後の目標とする姿や具体的に何をしていくべきかについて、グループ協議を通して考え、宣言しました。3年目研修では、アクションプランについて振り返り、学校運営への参画の意識を高めた上で、キャリアデザインを描きました。主体的に学び続ける自分の姿を想像し、見通しをもちました。



#### 「受講者の振り返りアンケートより」

- 3年目研修を終えてみて、自分自身が成長したことやできるようになったことを振り返ることができました。今後のキャリアを考える上で、自分に必要な研修を選択し、自ら学ぼうとする姿勢が大切だと感じました。また後輩へのサポートや、任される仕事の幅も増えていくので、尊敬できる先輩方の背中を追いながら、これまでの経験や自分の強みを生かしていこうと思います。(3年目研修)
- 評価のための評価にならないようにしていきたい。常に子どもと接する中で、成長する姿が見られる。また、私自身うまく指導できないこともある。しかし、諦めずに向き合い、子どもが成長できるように指導し、その上で評価をしていきたい。(2年目研修)

### 「ICTコーディネーター養成研修」

1月26日・2月1日に開催した第7回の研修をもって、今年度のICTコーディネーター養成研修がすべて終了しました。最終回では受講者同士で実践について報告し合い、マネジメントの在り方や次年度の展望について、講師の放送大学教授 中川一史先生の話や話を踏まえて捉える機会になりました。一年間の研修に御協力いただきありがとうございました。本研修は来年度も開催予定ですので、各校1名の受講者の御推薦をよろしくお願いいたします。

**受講者の声:** どの実践も一人で進めることもできるが、学校や教職員の理解を得ながら進めることにより、成果に大きな差が生じると感じた。教職員同士のつながりを作ることの大切さを学んだ。

### 「中堅教員研修 第5回集合研修」(1月18日、19日、25日、26日)

令和5年度「中堅教員研修」の最終回となる第5回集合研修を開催しました。4日間でおよそ600名が受講し、年間を通して校内で実践してきたアクションプランの取組と成果をグループで発表しました。また、1年間の学びを基に、これからのキャリアについて考えました。



#### 「受講者の振り返りアンケートより」

- 自分の実践に対してグループの皆さんからフィードバックをいただき、実践したことの価値や自分にはなかった視点に気付くことができました。これから中堅教員として実践していきたいことが増えました。
- 立ち止まってキャリアデザインを考える機会をもてたことがよかったです。これからの自分のキャリアについてロードマップを俯瞰して描くことで、自分がしたいことや必要としていることが見えてきました。

### 「よこはま教師塾アイ・カレッジ」

9月から3月までの間に10回の講座(ベーシック3回、スタンダード7回)を行い、いよいよ3月の最終回を残すのみとなりました。



2月17日の講座ではこれまでの授業づくり講座の集大成として模擬授業を行いました。「主体的・対話的で深い学び」や、「指導と評価の一体化」に加え、ICT活用についても視野に入れながら意見交換をしていました。教師体験プログラムの経験を生かし、学校現場や子どもの姿を想定しながら模擬授業を行うことができました。

### 「横浜市教育センター研究発表会の報告」

#### (1)「海外研修派遣報告会～海外の学校から日本の学校を考えるⅡ～」2月9日(金)

今年度、海外研修派遣に参加した3名の派遣者が、現地の学校で学んだことや、自校で取り組んだことの実践報告を行いました。また、帝京大学教職大学院の町支大祐氏にご登壇いただき、3名の派遣者とともに、異文化理解と多文化共生をテーマに対談を行いました。本報告会はオンラインで実施し、およそ70名が参加しました。

#### (2)「大学等研修一般派遣・横浜国立大学教職大学院派遣 成果報告会」2月27日(火)

大学等研修一般派遣2名、横浜国立大学教職大学院派遣7名の計9名の派遣者が、1年間の研究成果の報告をポスターセッションで行いました。当日は50名ほどの横浜市の教職員に加え、大学関係者にもお越しいただきました。3年ぶりの集合開催ということもあり、それぞれの報告者のもとで熱心な討議がされていました。

#### (3)「人材育成指標活用校 成果報告会」2月29日(木)

人材育成指標活用校6校(小学校4校・中学校1校・特別支援学校1校)が、1年間の実践とその成果を報告しました。本報告会はオンラインで実施し、およそ60名が参加しました。

※当日の様子を収録したeラーニング動画を公開しております。研修コード【23iku0229-e】

★「教職員養成・育成だより」は横浜市立学校向けに記載していますが、大学等におかれましても御一読いただけますと幸いです。



# 教職員養成・育成だより 第73号



令和6年1月9日発行  
横浜市教育委員会事務局 教職員育成課

## 11、12月の教職員育成課の教職員研修等及び事業情報

### 「初任者研修(1年目):授業力③」(11月12日)

代表者による授業や研究協議を通して授業力の向上を図り、指導方法の工夫、指導と評価の一体化等について理解を深めることをねらいとし、本研修を行いました。「授業力」研修の年間テーマである「子ども一人ひとりが主体的に学ぶ姿を目指して」に迫ることができるよう、代表者以外の初任者も、日々の実践や工夫を出し合いました。



### 初任者の「授業改善レポート」から、年間の振り返りを紹介します。

- 年間を通して、子どもたちの姿を想像して教材研究をすることを意識した。授業を作る際に、指導書通り進めるだけでなく、「あの児童だったらこう答えるだろうな」と考え、発問を変えたり、授業の流れを考えたりすることを意識した。そう意識することで、子どもたちがより授業に入り込んでいると感じることが増えた。
- 成長と課題を踏まえた次年度の目標は、先輩方の授業を見たり、分からないことは聞いたりすることです。どんなやり方があるのか、どんな意図で関わっているのか、板書の仕方はどういうものがあるのかなど、勉強に行く気持ちをもって日々過ごしていきたいと再確認しました。感謝の気持ちを忘れずに、これからも積極的に話を聞きに行きたいと思っています。

### 「第2回 管理職のためのICT活用推進研修」

12月18日に実施した標記研修では、講師に認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム 理事長 新保 元康 氏(文部科学省 学校DX戦略アドバイザー)をお招きし、ご講演いただきました。

【受講者の声】:ICT活用を通じて、働き方改革へつなげていく今後の大きな方向性、根本の部分を確認することができました。なぜ、学校DXを進めなければいけないのかがよく分かりました。

当日の様子は、eラーニングでご視聴いただけます。Leafにて、「【オンライン】令和5年度 第2回 管理職のためのICT活用推進研修(研修コード:23ikict1218)」にお申込みの上、ご視聴ください。

### 令和5年度「福島研修派遣」を実施しました

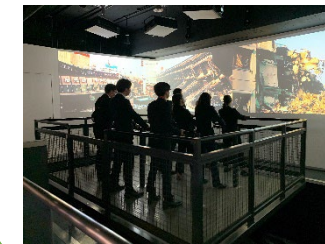
11月2日(木)、新任主幹教諭研修の受講者のうち80名を対象に、福島研修派遣を実施しました。研修派遣当日は、震災遺構 浪江町立請戸小学校の見学、語り人のガイドによる富岡町のバスめぐり、富岡町教育長との対談を行い、放射線等に対する正しい理解や、震災避難者や復興に関わる人々の想いや取組への理解を深めました。



- 語り人の方のお話から、震災前後の生活が一変してしまったことがよく分かりました。過去に穏やかに過ごしていた場所や人が失われていった事実。想像しただけで胸が詰まる思いでした。
- 人のいない建物や町並み、解体中の建物、解体され更地になってしまった土地などをバスの中から見てまわる中で、復興は進んでいても震災はまだ終わっていないという言葉の意味を実感しました。

### 「よこはま教師塾アイ・カレッジ」

12月末までの間に、ベーシック講座3回とスタンダード講座3回を終えました。12月からは、1回4時間×6回の計24時間を基本とした学校現場でのインターンシップ活動(教師体験プログラム)も行っています。約90の市立学校に、将来の横浜市の教員の養成に御協力をいただいています。



12月17日(日)の講座では、横浜市民防災センターでの研修を行いました。現地での様々な体験活動を通して安全や防災についての意識を高めました。また、花咲研修室と防災センターとの経路では、児童生徒の安全に配慮した引率の仕方を学びました。学校現場での実践力を高めることを想定し、研修内容を設定しています。

### <お知らせ> 横浜市教育センター研究発表会

教職員育成課では、2月に以下の3つの報告会を開催します。詳細は学校便利帳で通知いたします。

#### (1)「海外研修派遣報告会～海外の学校から日本の学校を考えるⅡ～」

2月9日(金)15:00～オンライン開催

3名のニュージーランド派遣者の実践報告や対談等を通して、海外の学校教育や異文化への理解を深めるとともに、これからの学校教育について考える機会にします。

#### (2)「大学等研修一般派遣・横浜国立大学教職大学院派遣 成果報告会」2月27日(火)

大学等研修一般派遣2名、横浜国立大学教職大学院派遣7名の計9名の派遣者が、1年間の研究成果の報告を行います。

#### (3)「人材育成指標活用校 成果報告会」2月29日(木)

人材育成指標活用校6校(小学校4校中学校1校特別支援学校1校)が、1年間の実践の成果を報告します。

※各回とも実践・研究から学ぶ貴重な機会となっております。ぜひご参加ください。



# 教職員養成・育成だより 第72号

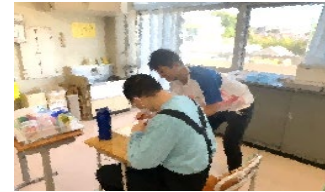


令和5年10月31日発行  
横浜市教育委員会事務局 教職員育成課

## 9.10月の教職員育成課の教職員研修等及び事業情報

### 「初任者研修(1年目):特別支援学校等体験」(10/17~)

特別支援教育への理解を深め、教育的ニーズに対応した指導・支援に係る資質・能力の向上を図るとともに、学んだことを自身の教育活動に生かすことをねらいとし、6週にわたって本研修を行っています。1週目に研修を行った初任者の振り返りを紹介します。



様々な活動を、児童生徒と一緒に体験することで、初任者にとって特別支援教育の理解を深める貴重な経験となっています。

市内全ての特別支援学校と一部の小・中個別支援学級で研修を行っています。



○問いかけに対して目で反応をする姿や、胃ろうをしているが、舌の上に食事を乗せて、楽しんでいる様子を見て、「いまを一生懸命に生きている子どもを、これからも育てていきたい、と心から思いました。食育や、他者とのコミュニケーションなど、自校では子どもたちの健やかな成長のために大切なことを行っていると再確認し、今後も誇りをもって学校で働こうと思いました。

### 「指導教員研修④~ICTを活用した授業づくりの支援~」(10/10)

初任者校内研修のさらなる充実に向け、講義と、一人一台端末を使用した演習を実施しました。



- 興味深い研修でした。放送大学中川先生による目の前のことだけではなく、これからどうなるのかを意識した授業づくりのお話は、大変参考になりました。
- ロイノート活用の活用についての研修はとても有効であった。すぐに活用できると感じた。
- 他校の指導教員の方々と情報交換をすることは、自分の仕事を振り返るよい機会である。

#### <お知らせ>初任者研修(1年目):「授業力③」(代表授業研究会)について

授業力③は、代表授業者の所属校にて行います。所属校の皆様には、様々な場面でご協力をいただきます。よろしくお願ひします。11/28(ア日程)か12/5(イ日程)で行います。(1部のグループを除く)日程等詳細は、通知を御確認ください。

### みんながつくる みんなの学校 ~すべての子どもの学習権を保障する~

10/20(金)開催の教育課題研修では、大阪市立大空小学校の初代校長を9年間にわたって務めた木村泰子氏を講師に招き、「全ての子どもの学習権を保障する」という理念のもと学校づくりに御尽力された経験談とともに、学校経営の在り方等について御講演をいただきました。

研修当日は、およそ250名の教職員が参加し、講義や演習を通して学びを深めました。

- 「すべての子どもの学習権を保障する」ために、学校や地域が一体となって、人として子どもとかわっていくことの大切さを感じました。
- 木村先生の子どもの思う熱い言葉に圧倒されました。改めて、教育の原点に戻った感じです。
- 柔らかな語り口の中に、学校や子どもたちへの深い愛情を感じる2時間でした。そしてその中にある木村先生の思いが、わかりやすくシンプルな言葉で伝わってきて、日ごろの自分や学校経営について考えさせられる時間でした。

### 「iPad アクセシビリティ研修」(8/31)

様々な場面、様々なニーズに対し、テクノロジーを有効に活用し、一人ひとりに合った学び方をサポートするiPadのアクセシビリティ機能について学ぶことを目的に研修を行いました。

受講者からは、「実際に個別に支援が必要な児童の対応などに役立つものも多く、すぐに実践してみたいと思いました。」「使ったことがないものばかりで、なかなか調べたり聞いたりする機会がなかったため、今回の研修で知ることができ良かった。」などの御意見をいただきました。

### 「ICTコーディネーター養成研修」(第6回 10/20・26)

この研修では、リーダーシップとマネジメント力を発揮し、管理職やICT推進リーダー等と連携しながら、ICT活用を組織で推進していくための推進役となる人材の育成を目指しています。第6回は、アクションプランの進捗管理について確認をするとともに、小中学校企画課情報担当の指導主事による講義を通して、さらに情報モラルについての理解を深めました。「アクションプラン自体の曖昧さにも気付く機会となった。」「情報モラルの指導もICT推進をするために欠かせないものだった」といった振り返りがありました。

#### <お知らせ>

#### 育児休業代替任期付教員、臨時的任用職員等対象スタートアップ研修について

管理職による対象者の登録は6/30で締切となっていますが、追加・修正・解除については11/30(木)まで可能です。詳しい内容については、令和5年4月11日付け、教教育第849号をご覧ください。

#### 令和5年度 横浜市大学連携・協働協議会について

協議会の記録を、YCANの[トップページ](#) > [各区局](#) > [教育委員会事務局](#) > [教職員育成課](#) > [大学連携ページ](#)にアップロードしました。ぜひ御一読ください。

★「教職員養成・育成だより」は横浜市立学校向けに記載していますが、大学等におかれましても御一読いただけますと幸いです。



# 教職員養成・育成だより 第71号

令和5年8月31日発行

横浜市教育委員会事務局 教職員育成課



## 7.8月の教職員育成課の教職員研修等及び事業情報

7.8月も教職員育成課では各キャリア研修等の研修を実施しました。教職員養成・育成だよりで、全教職員に共有していただき、人材育成の推進に御活用ください。

### 令和5年度 横浜市大学連携・協働協議会

(第一部 e ラーニング視聴期間:5月25日~8月31日、第二部オンライン開催:6月23日)

本協議会は、54の連携大学と本市が教員の養成・育成に関する方策等を協議し、連携・協働を円滑かつ効果的に推進することを目的として行っています。第一部は事前に e ラーニングにて本市の活動を報告し、第二部の協議会はオンラインで開催しました。木村教育次長の挨拶で始まり、大学関係者、本市校長・教職員、指導主事合わせて約100名が参加しました。

第二部は、3つの分科会に分かれ、「人材育成指標【管理職版】【教員版】の改訂について ~本市の実情を踏まえた、成長段階に応じた資質の向上の目安となる姿とは~」「着任時の教職員に対して求める資質・能力について ~本市が求める着任時の姿に至るためにどのような連携が必要か~」「校内研究・研修の充実を目指した大学と本市学校の連携について ~本市教職員及び教員志望の学生が、社会の変化に対応し学び続けるためには~」についてそれぞれ協議しました。どの分科会でも活発な話し合いが行われ、学校・大学・事務局の実情を知り、今後につながるアイデアを出し合うよい機会となりました。協議会の記録は、後日 YCAN にアップロードする予定です。

### 教育実習

調査依頼の提出に御協力いただき、ありがとうございました。令和6年度一括方式の学生の受け入れ通知については、10月下旬~11月上旬に発出予定です。

また、教教育第434号(8月24日付)で「令和5年度の第2期(秋以降)に実施する教育実習について(通知)」を発出しております。書類のやり取りや指導、ハラスメント防止について記載しておりますので、是非ご一読ください。

### <お知らせ>

#### 初任者研修(1年目):「授業力②」「行事③」について

授業力②(9月5日、9月12日)では、学習指導案の検討を行います。行事③(9月26日、10月3日)では、前期の振り返りを行います。各通知を御確認の上、参加をお願いします。

### 「初任者研修(1年目):行事」(7/31・8/2 群馬県昭和村 8/17・8/24 山梨県道志村)

「教職員として必要とされるコミュニケーション力の向上」「友好交流先の理解」「安全配慮・危機管理」という視点のもと、研修を行いました。



- 安全に行事を終えることができたのは、当時の先生や、多くの方の支えがあったからだと感じた。今度は自分が児童の安全を守るため、危機を予見しながら行動していきたい。
- 校種を超えて同期と仲を深めることができたので、大変満足しています。
- 普段当たり前食べている食材の生産者の方とお会いしたり、実際に自分で作ってみたりすることで、その有り難さを感じることができた。児童にも学校ではできない貴重な体験をしてもらいたいし、学校での授業でも、できるだけ児童が手を動かして体験できる機会を設けたいと考えた。
- 横浜市と道志村のつながりについて学ぶことができた。事前の研修で、道志村の特産品や歴史、水源林について調べたが、実際に行ってみてわかることが多くあった。川に流れている水の透明度や、森林のにおいなどを五感で感じるすることができた。
- 初任者としての悩み等を話す中で、悩んでいるのが自分だけではないことの安心感や、悩みを共感してくれたことへの喜びなどを感じることができた。

### 新任副校長研修「短期企業等研修派遣」

7月下旬から8月にかけて、新任副校長研修の一環として、短期企業等研修派遣を行いました。今年度は、横浜市教育委員会と協定書を締結した27の民間企業等にご協力をいただきました。研修派遣の一部について、受講者の振り返りを紹介します。

#### 神奈川トヨタ自動車株式会社

理念が、言葉だけで終わることなく、日々の営みにおいて体現できるように意識されていた。学校でも学校教育目標を意識して、学校経営を行いたい。



#### ユースキン製薬株式会社

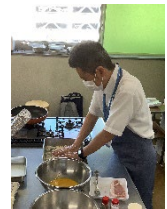
人材育成には、適切な目標設定が不可欠であると改めて学んだ。個の成長を促すような「支え合い・補い合う組織」をつくりたい。



#### フライスター株式会社

企業が存続するためには、日々努力し、成長し続ける必要がある。

副校長として、児童の成長のために、地域に開かれた特色ある教育課程の編成・実施を目指して日々学び続けたい。



### オンライン研修「海外の学校から日本の学校を考える」~海外研修派遣~

8月14日~20日 3名の教員が、4年ぶりの実施となる海外派遣研修(ニュージーランド)に参加しました。8月18日には、オンライン「海外の学校から日本の学校を考える」研修を開催しました。ニュージーランドの学校の授業風景や、現地校の先生方からのメッセージなどを LIVE 配信しました。

- ニュージーランドに行っている先生方と LIVE でつながり、まさしく今のニュージーランドの学校の様子や子どもたちの様子を見ることができ、大変貴重な経験をする事ができた。
- ニュージーランドの学校の様子を見て、日本の学校教育との違いを改めて感じた。

**参加者募集**  
海外の学校から日本の学校を考える

- 1 横浜「オンライン研修」の開催(8/18日)に参加する。
- 2 対象「海外の学校から日本の学校を考える」研修に参加する。
- 3 海外研修派遣費(研修費)は、研修参加者からオンライン研修費(ニュージーランドの研修費)を徴収する。

開催日時  
8月18日(金)10:30~12:00

開催方法  
オンライン(Zoom)

定員  
100名 ※定員を超えても申込みできます

申込み方法  
研修費(研修費)は、研修参加者からオンライン研修費(ニュージーランドの研修費)を徴収する。

★「教職員養成・育成だより」は横浜市立学校向けに記載していますが、大学等におかれましても御一読いただけますと幸いです。



# 教職員養成・育成だより 第70号

令和5年6月29日発行

横浜市教育委員会事務局 教職員育成課



## 5.6月の教職員育成課の教職員研修等及び事業情報

5.6月も教職員育成課では各キャリア研修等の研修を実施しました。教職員養成・育成だよりで、全教職員に共有していただき、人材育成の推進に御活用ください。

### ICTコーディネーター養成研修

一部のICT活用に堪能な実務担当者に依存することなく、学校全体で組織的にICT活用を推進するために、リーダーシップを発揮してマネジメントを担うことができる人材の育成を目指して令和4年度に開始したのが、「ICTコーディネーター養成研修」です。

これまでに、第2回までの研修を行っています。どちらの回も、オンラインと集合のハイブリッド開催としています。やむを得ず欠席する場合には、eラーニングによる補講を受講し、課題レポートを提出することになっていますが、補講による受講は、年に2回を上限としています。

第3～5回研修は選択研修となっています。アクションプランに基づき、それぞれの受講者にとって必要な講座を受講します。なお、いずれの回も日にちや時間帯を変更して2回ずつ開催しますので、ご自身のご都合に合わせて御参加ください。



### 小中学校の教育実習について

内諾方式の申し込みについての御協力ありがとうございます。面接及び学生への受入可否の通知につきましては、7月5日（水）までをお願いいたします。また、一括方式の受入可能人数と内諾者数を御回答いただく「実習の調査依頼」は7月21日（金）までをお願いします。

### 「初任者研修:危機管理」小(水泳指導・心肺蘇生) 中高特支(心肺蘇生・防災安全)

小学校は横浜国際プール、中学校・高校・特別支援学校は防災センターにて、実技を伴う危機管理研修を行いました。



横浜国際プールにて



横浜市民防災センターにて



児童の意欲を高め、安全に水泳学習を行うために、実態や一人ひとりの状況に合わせて進めていくことが大切であると学ぶことができました。授業に生かしていきたいです。

事故や怪我は「起こらないだろう」と思うのではなく、「いつ起こっても適切な対応ができるようにしよう」という心構えを常にもつことがとても大切だということを学びました。

地震が起きた時の対応など、覚えていないことが意外とあることに改めて気付きました。教員という立場である以上、生徒の命を最優先に守るという意識を常にもっておく必要があると思いました。

### 初任者研修(1年目)「行事」はじまります

夏の昭和村・道志村での研修に向けて、7月24日・25日にオリエンテーションを行います。いずれの日程かは6月22日通知(教教育第280号)を御確認の上、参加をお願いします。

### 令和5年度の新任主幹教諭研修がスタートしました

6月8日(木)、15日(木)、16日(金)に開催した第1回集合研修では、自校で期待される主幹教諭としての役割を捉え直すとともに、自校の現状を分析してアクションプランを作成し、一年後の目指す姿を実現するための具体策を考えました。今後、アクションプランに基づく校内での実践に取り組み、主幹教諭としてのマネジメント力の向上を図っていきます。

#### 【受講者の振り返りから】

- 中期学校経営方針を今までとは違った視点で捉えて学校組織の分析を行ったことで、自校の強みや課題に気付くことができました。
- 主幹教諭としての心構えや見通しがもてたことと、同じグループで悩みや困り感などを共有できたことがとてもよかったです。

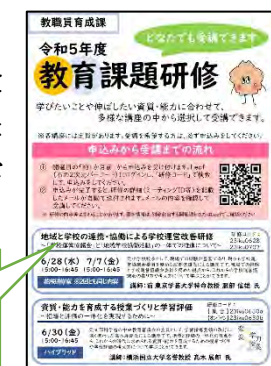


### 令和5年度「教育課題研修」を開催します

授業力、児童生徒指導、マネジメント等、各分野のスペシャリストを講師とした、教職員の資質能力の向上を図る講座を開催します。本研修はどなたでも受講できます。学びたいことや伸ばしたい資質能力に合わせて、多様な講座の中から選択してご受講ください。

研修の詳細や申込方法は、右の「研修一覧」でご確認ください。

(学校便利帳教教育第906号(令和5年4月18日)で検索してください)



★「教職員養成・育成だより」は横浜市立学校向けに記載していますが、大学等におかれましても御一読いただけますと幸いです。



# 教職員養成・育成だより 第69号



令和5年5月31日発行  
横浜市教育委員会事務局 教職員育成課

## 4.5月の教職員育成課の教職員研修等及び事業情報

今年度4月より「新しい研修制度」が施行されました。4月より各キャリア研修等が開講しています。教職員養成・育成だよりで、ぜひ全教職員に共有していただき、人材育成の推進にご活用ください。

### 「教員基礎研修」は、すべての方にご利用いただけます

これまでに、「A 集合研修型 (Zoom 開催)」を2回行っています。受講者は少人数のグループを組み、その中に育成課スタッフが入り、演習を通して学び、日々の業務につなげていきます。研修後の振り返りでは、「様々な校種や経験の方と話し合うことができてよかった」「話し合うことを通して理解が深まり、日々の業務につなげる意欲が高まった」などの感想が寄せられています。

また、6月29日(木)には、「教育的ニーズへの対応」をテーマとして第4回の研修を行います。特別支援教育が専門の大学教員等が、少人数グループに一人ずつアドバイザーとして参加する大変貴重な回となっています。先着順ですので、お早目にお申込みください。

申込締切:6月22日(木) お申込みは [YCANトップページ](#) > 各区局 > 教育委員会事務局 > 教職員育成課 > 教員基礎研修 Top

### 教育実習について

受入れのご協力ありがとうございます。内諾方式の学生の申請は6月16日(金)締切です。

### 「初任者研修」がスタートしました

今年度は769名を対象に、初任者研修がスタートしました。「横浜型初任者育成研修」として、2・3年目の教員も含め「横浜市人材育成指標」に基づく研修を実施していきます。

#### 【初回の受講者の振り返りから】

- 教育公務員として、強く自覚をもって行動することが重要であると学びました。
- 同期の仲間たちと実際に会い、直接意見交換することができ嬉しかったです。
- 1年間の見通しと、人権意識を高くもって業務にあたらうという意識をもつことができました。
- 「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できるように、自分自身も学び続けていきたいです。



教職員育成課 Web ページには、初任者研修のサポートブック・指導資料があります。資料には、全職員が配慮することとして「初任者の心身の健康に配慮する」「初任者との温かい人間関係を作る」とあります。各学校で初任者を温かく見守りながら、校内研修の円滑な実施をお願いいたします。

### 前期と後期を統合した新しい「中堅教員研修」が開講しました

4月28日、5月12日、19日に3回に分けて実施した第1回集合研修では、中核的な教員に求められる行動や考え方について理解を深めるとともに、中期学校経営方針及び管理職との対話をもとに決定した「校内の実践テーマ」に取り組むためのアクションプランを作成しました。

本研修では、集合研修(理論)と校内での実践の往還を行うことで、中堅教員に求められる「専門性」や「マネジメント」にかかわる資質能力の向上を図っていきます。

#### 【受講者の振り返りから】

- 様々なデータをもとに、「チームにおける中核教員としての行動」において大切なことを学びました。
- 「中期学校経営方針」に沿って業務を進められているか、自分の役割は何なのかを見つめ直す機会になりました。



### 「令和5年度 ICT コーディネーター養成研修」が開講しました

5月19日・25日に、第1回 ICT コーディネーター養成研修を実施しました。放送大学の中川一史教授にご講演いただき、一人一台端末によって、今後どのような ICT の活用が可能となっていくのか、協議等を行いました。

本研修は、研修で学ぶ理論と、学校での実践の往還を通して、ICT コーディネーターの養成と同時に、校内の ICT 活用を実際に推進していくことを目指します。受講者は、次の研修までに、自校の現状分析とビジョンの整理に取り組んでいます。受講者を中心に、今年度末に実現を目指す校内の ICT 活用の姿について、学校内で話題にする場面の設定をぜひお願いいたします。

#### 【受講者の振り返りから】

ICT コーディネーターとしての役割、コーディネーターとしての長期目標、そして研修当日の短期目標がはつきりしていたので、学ぶ側としてもとても理解しやすかったです。ICTに詳しくはない、得意としていない自分ですが、機器の操作というよりも、学校全体で育てていくべき指針を示していけたらと思います。

### <お知らせ> 6月研修のご案内～企業連携講座～

企業の問題解決の手法や連携協働していくためのファシリテーション、プレゼンテーション等を学ぶ貴重な機会です。授業、学級経営、学校経営等の課題解決のための資質能力の向上を、演習を通して図ります。

この研修は、昨年度、夏季休業中に試行で実施しましたが、すぐに定員が満席となり、受講者から大変好評をいただきました。それを受けて今年度から「教職員」「管理職」に、定員を増やして、多くの講座を実施していきます。ぜひご参加ください。

・申込は「Leaf」から・詳細は学校便利帳通知教教育第177・178号をご参照ください。

★「教職員養成・育成だより」は横浜市立学校向けに記載していますが、大学等におかれましても御一読いただけますと幸いです。